

未来のヴィルトゥオーゾを、  
Toyamaから世界へ。



尾高 忠明  
写真提供：札幌交響楽団

9/21日

桐朋アカデミー・オーケストラ  
特別演奏会

会場/オーバード・ホール  
開演/14:00 (開場13:30)  
入場料/3,000円 (税込) (全席自由/友の会会員・学生・生徒・児童 無料)  
指揮/尾高 忠明 ピアノ独奏/田部 京子 (桐朋学園大学院大学教授)  
グリーゲ:ピアノ協奏曲 イ短調 作品16  
ラフマニノフ:交響曲 第2番 ホ短調 作品27

10/19日

桐朋学園大学院大学 桐朋アカデミー・オーケストラ  
協奏曲のひとつとき

会場/オーバード・ホール  
開演/14:00 (開場13:30)  
入場料/1,000円 (税込) (全席自由/友の会会員・学生・生徒・児童 無料)  
指揮/梅田 俊明 (桐朋学園大学院大学特別招聘教授)  
独奏/桐朋学園大学院大学生 (オーディション選抜者)  
※独奏者と演奏曲目は9月に実施する学内オーディションを経て決定されます。

# 桐朋アカデミー・オーケストラ

## 2019秋季コンサート・スケジュール

11/6水 7木

桐朋オーケストラ・アカデミー  
第47回 室内楽定期演奏会

会場/富山市民プラザ アンサンブルホール  
開演/両日とも開演19:00 (開場18:30)  
入場無料

※オーディション選抜グループによる室内楽プログラム

11/17日

桐朋アカデミー・オーケストラ  
第59回 定期演奏会

会場/オーバード・ホール  
開演/14:00 (開場13:30)  
入場料/2,000円 (税込) (全席自由/友の会会員・学生・生徒・児童 無料)

指揮/キンボー・イシイ (シュレーヴスヴィヒ=ホルシュタイン州立劇場次期音楽総監督)

ヴァイオリン独奏/川久保 賜紀 (桐朋学園大学院大学教授)

ドヴォルザーク:序曲「謝肉祭」 作品92

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35

ブラームス:交響曲 第2番 ニ長調 作品73

※演奏曲目・出演者等は変更になる場合もあります。演奏会等に関する最新情報は、本学ホームページ (<http://www.tohomusic.ac.jp>) をご覧ください。  
※チケットは7月2日(火)より下記プレイガイドにて一斉発売。桐朋オーケストラ・アカデミー友の会会員・学生・児童の皆様は、無料でご入場いただけますが、満席となった際は入場をお断りすることがございます。あらかじめご了承ください。

チケット販売所 桐朋学園音楽部門富山キャンパス事務室、北日本新聞本社プレイガイド、アスネットカウンター(オーバード・ホール1F)、ミヤコ楽器店

■主催/桐朋オーケストラ・アカデミー、桐朋学園大学、桐朋学園大学院大学、(公財)富山市民文化事業団、富山市、富山市教育委員会、(株)北日本新聞社

■後援/富山県、(一社)富山県芸術文化協会

■お問い合わせ/〒930-0138 富山市呉羽町 1884-17 桐朋学園音楽部門 富山キャンパス事務部教学課 TEL.076-434-6800



桐朋オーケストラ・  
アカデミー  
「友の会」  
会員募集中



# 演奏を通して、音楽の本質に触れる。

《桐朋オーケストラ・アカデミー》は、プロ・オーケストラ奏者育成のための教育機関として、富山市の協力のもと、1995年9月、呉羽に開校いたしました。開校以来、桐朋学園の伝統である合奏教育を主とした独自のカリキュラムを編成し、内外の一流の教授陣が指導にあたっています。《桐朋アカデミー・オーケストラ》は、その教育成果を発表する実践の場として、教授陣及び、ここで研修する国内外各地で選抜された学生を中心に組織され、定期演奏会、特別演奏会、桐朋学園大学院大学生をソリストとする協奏曲のタベ等の公演を行い、地域の文化活動にも貢献しています。

## 2019秋季コンサート出演者プロフィール

### 9月21日(土) 特別演奏会



〔指揮〕

**尾高 忠明** Tadaaki Otaka

©Martin Richardson

1947年生まれ。ロンドン交響楽団、ロンドン・フィル、BBC交響楽団、バーミンガム市交響楽団ほか国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、最近ではベルリン放送交響楽団、hr交響楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団等へ客演している。17年BBCウェールズ・ナショナル交響楽団首席指揮者就任(現桂冠指揮者)から30年に当たりオール・エルガーによる記念コンサートが開催された。2018年4月からは1年間のミュージック・アドヴァイザーを経て、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任した。本年はBBCウェールズ・ナショナル響とBBCプロムスに出演予定。

91年度サントリー音楽賞受賞。93年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号、ウェールズ大学より名誉博士号を、1997年英国エリザベス女王より大英勳章CBEを授与された。さらに1999年には英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与されている。2012年有馬賞(NHK交響楽団)、14年北海道文化賞、18年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞、日本放送協会放送文化賞を受賞。

現在NHK交響楽団正指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団桂冠指揮者、札幌交響楽団名誉音楽監督、東京フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠名誉指揮者。また東京藝術大学名誉教授、相愛大学、京都市立芸術大学音楽学部客員教授、国立音楽大学招聘教授を務めている。



〔ピアノ〕

**田部 京子** Kyoko Tabe

©Akira Muto

東京芸術大学附属高校在学中、日本音楽コンクール第1位受賞。東京芸術大学に進学後、文化庁派遣芸術家在外研修員としてベルリン芸術大学に留学。エピナール国際ピアノコンクール第1位、シュナーベルコンクール第1位、ミュンヘン国際音楽コンクール(ARD)第3位、ショパン国際ピアノコンクール最優秀演奏賞受賞。ベルリン芸術大学および同大学院を首席卒業。バイエルン放送響、バンベルク響、モスクワ・フィル、ワルシャワ・フィル、ローザンヌ室内管、アルバン・ベルク弦楽四重奏団ほか、世界のトップアーティストから共演者に指名される。これまでに、村松賞(音楽部門大賞)、新日鉄音楽賞などを受賞。CDは30枚以上リリースされ、その多くが国内外で特選盤に選出されるほか、レコードアカデミー賞などを受賞。また、2016年秋に放映されたNHKドラマ「夏目漱石の妻」の挿入曲「シューベルト:ピアノソナタ第21番」の演奏でも話題を呼んだ。現在進行中のリサイタルシリーズ「シューベルト・プラス」が高い評価を得ているほか、昨年CDデビュー25周年を迎え、一夜に2曲のピアノ協奏曲を演奏するなど第一線で演奏活動を続けている。2017年より桐朋学園大学院大学教授に就任。

<http://www.kyoko-tabe.com>

### 10月19日(土) 協奏曲のひととき



〔指揮〕

**梅田 俊明**

Toshiaki Umeda

©三浦興一

84年桐朋学園大学音楽学部を卒業。86年同研究科を修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。83、84年には来日中のジャン・フルネ氏にも学んだ。86年よりウィーン

国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し研鑽を積んだ。帰国後、日本センチュリー、仙台フィルハーモニー、神奈川フィルハーモニーの指揮者を歴任。NHK響、読売日響、東京都響、新日本フィル、日本フィルを始め、国内主要オーケストラと長年にわたり共演を重ねている。

2000年4月より仙台フィルハーモニーの常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み06年3月までその任を務めた。

01年第1回、04年第2回仙台国際コンクールで

は全ての協奏曲を指揮し、出場者、聴衆、国内外の審査員から絶賛を博した。06年には大ブームとなったドラマ「のだめカンタービレ」に、演奏及び指揮指導で参加し、注目を集めた。96年1月には南西ドイツ・フィルハーモニーとスロヴァキア・フィルハーモニーの定期演奏会に出演、いずれも好評を博した。

的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚い。また桐朋学園大学、東京芸術大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

### 11月17日(日) 第59回 定期演奏会



〔指揮〕

**キンボー・イシイ**

Kimbo Ishii

©Martin Richardson

ドイツ・マクデブルク劇場音楽総監督。2019年夏、シュレースヴィヒ=ホルシュタイン州立劇場の音楽総監督に就任予定。幼少期を日本で過ごし、ヴァイオリンを風岡裕氏に学ぶ。12歳で渡欧、ウィーン市立音楽院にてヴァイオリンをワルター・バリ、ピアノをゲトルド・クーバセック各氏に師事。

1986年に渡米、ジュリアード音楽院にてドロシー・ディレイラのもとで研鑽を積む。その後、指揮に転向。小松長生、マイケル・チャーリー、小澤征爾の各氏に指揮法を師事。またマネス音楽院にて楽曲分析及び作曲法を学び、当院よりジョージ&エリザベス・グレゴリー賞を受賞する。1993年、1995年のタングルウッド音楽祭に奨学生として参加し、小澤征爾をはじめサイモン・ラトル等に師事。1995年、デンマークで開催されたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで4位に入賞。

これまでにボストン響とニューヨーク・フィルの定期演奏会、及びタングルウッド音楽祭にて小澤征爾、サイモン・ラトル、ベルナルド・ハイティンク等各氏の副指揮者を務めた。ベルリン・コミッシェ・オーパー(KOB)首席カベルマイスター、大阪交響楽団首席客演指揮者などを歴任。KOB では、オペラ『フィガロの結婚』『トゥーランドット』『金鶏』などを指揮、オーケストラ・コンサートでも質の高いパフォーマンスを披露した。

日本においては、NHK交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、九州交響楽団、札幌交響楽団等を指揮、オペラでは、びわ湖ホール・オペラビエンナーレ『フィガロの結婚』、関西二期会『魔弾の射手』を指揮、草津国際音楽祭出演。

2010年、「第9回斎藤秀雄メモリアル基金賞」指揮者部門受賞。賞金は、次世代の音楽家育成に貢献したいという当人の意向により、ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラに全額寄付された。



〔ヴァイオリン〕

**川久保 賜紀**

Tamaki Kawakubo

©Yuji Hori

2002年チャイコフスキー国際コンクール最高位入賞(1位なしの2位)。

同時に、ロシア作曲家協会による「現代音楽の優れた演奏に対する特別賞」受賞。2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝。2004年、出光音楽賞、エヴリー・フィッシャー賞を受賞。2007年S&R財団ワシントン・アワード賞受賞。川崎雅夫、Z.ブロンの各氏に師事。幼少時をアメリカで過ごし、主要な北米オーケストラと共演する。ラヴィニア音楽祭では、芸術監督エッセンバハと共演。1997年チョン・ミョンフン指揮アジア・フィルのソリストとして初来日以来、日本の主要オーケストラと共演を重ねる他、インバル指揮ベルリン響、プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管などの日本公演のソリストに迎えられる。近年はワシントンや淡路島で自ら企画するコンサートを行うなど、コンサート・プロデューサーとしての才能も発揮している。2018年より桐朋学園大学院大学教授に就任。